

平成29年度

町政懇談会を実施

平成29年7月20日（木）から8月24日（木）まで、町内5会場において、町政懇談会を実施しました。例年11月頃に本懇談会を開催していたところですが、本年度は次年度の予算措置に向け、前倒しの開催となりました。

各会場では、「選挙区改定のお知らせ」や「災害について」、「平成28年度ふるさと納税の実績」、「地域公共交通について」などを説明し参加者からはそれに伴う質問、その他町政全般に関する要望・意見を伺う貴重な機会となりました。

今回は、懇談会で話題になりました要望、主な意見などお知らせします。

※質問・回答につきましては、内容を要約し掲載しています。

●振興自治区

7月20日（木） 17時30分～

振興会館

参加者 7名

●雨竜川河川改修について

Q 河川改修作業は、現在行われている長留内から上流に向かって進んでいく予定なのか。

今後の雨竜川の河川の床下げの計画がどのように進んでいくのか。

建設課長 現在、長留内会館前あたりを掘削し、順次上流に向かって作業を進めていく予定で

盛り込んでいるところです。

●ほろみん号及びJRバスの利便向上について

Q ほろみん

号の終点が旭

川駅前となっ

ているので、

各病院へはタ

クシーやバス

で行くことに

なり、また、

帰りの便までに診療が終わらな

いこともあり困っています。1

便のときには、市内の大きな病

院を回るなど、病院に通う方々

の利便性を考えて欲しいです。

同じくJRバスについても、

深川行きは駅前までしか行かず、市立病院や第一病院に停まるようにならないものですか。

町長 ほろみん号が正式路線となり、今後は皆さんの声を実現に向けて発展させていきたいと考えています。イメージとしては、通院・通学を上手く出来ないかという思いがあります。現状では1日2往復で年間800万円ほどの費用を要しているため、財源確保の問題が浮き彫りとなっています。しかし、やっと正式路線となり、利便性



の拡充のためどんどん意見を挙げていただきたく思います。

副町長【補足】 JRバスは鉄道の代替バスなので基本的に駅から駅までの運行となり、深川市立病院への要望は難しいのが現状となっています。

●平和・親煙・

長留内自治区

7月25日（火） 9時00分～

平和会館

参加者 12名

●今後の幌加内町について

Q これから先の幌加内町の方

向性について、10年後、20年後をどのような町にしていきたいのですか。

町長 町のランドデザインはすぐ難しい問題で、今までの行政のやり方、主導的な立場では、やはり町の振興計画を樹立しなければならぬと考えています。それがあ意味ランドデザインになると考えています。町の総合振興計画の中でも一つのプロジェクト化した事業として推進する方法がやりやすいのかと思っています。

●幌加内自治区

8月1日（火） 18時30分～

町民研修センター

参加者 19名

●コンビニについて

Q 今の時代ではコンビニがないのは不便で、利便性を考える必要と考えています。商店もコンビニが出来ることによって影響は出ると思いますが、Aコープも19時で閉店してしまい不便を感じています。

町長 Aコープとコンビニを連携させ、共存できる最良の方法で協議を進めています。交渉は難航すると思われ、粘り強く取り組んでいきます。道内でコンビニがない町村は3ヶ所です。で、企業立地条例などありますので、行政に出来ることがあれば積極的に支援をしていきたいと考えています。



要援護者名簿の作成について

Q 要援護者名簿を作成しようと思っても、役場では「個人情報」ということで教えていただけない、直接ご自宅へ行ってでもお宅は誰だと言われたことが多々ありましたので、要援護者名簿は役場で作成していただいた方がよいのではと感じています。

中央生活改善センターの代替施設建設計画について

Q 中央生活改善センターの改修ですが、将来性を考えて、町民のためのいい施設を作っていただきたいと思います。

A 平成31年度に取り壊しの計画をしています。今後は病院跡地利用計画や中央公民館耐震化工事を踏まえ計画を作成していきます。

●母子里自治区

8月23日(水) 19時00分
母子里コミセン
参加者 4名

母子里の雨量を知るには

Q 避難準備をする基準として雨量計での判断になると思いますので、何で雨量を知れば良いのでしょうか。

総務課長 町独自で雨量計を設置しておらず、気象庁のアメダスで判断しています。開発が情報提供している道路情報の中に母子里地区の情報が掲載されており、そちらで時間、雨量と累計雨量は確認できるようになっています。河川については、水位が解るものがないので、目視で確認し、避難するしかないので現状です。

災害時の灯油について

Q 昨年、停電時にコミセンに行きましたが、ストーブ本体はあっても灯油があ



りませんでしたので、灯油のストックを考えて欲しいです。

副町長 今年、ポータブルストーブ配置避難所には灯油は配布します。

●朱鞠内自治区

8月24日(木) 18時00分
朱鞠内コミセン
参加者 17名

道路管理について

Q 国道も含め、草刈する時期が遅く、道路に草が被さっている状況で車を運転しなくてはなりません。国道が夜間の除雪をしないのは理解していますが、今の除雪状況でもし、何かあった場合、「救急車が走れるのか」といった問題もあり、冬の除雪回数をもう少し増やすとかは出来ないのでしょうか。

建設課長 草刈については、例年6月くらいにお願いしています。しかし現状は、草刈機械の保有台数が限られており、遅くなっている状況を理解していただきたく思います。また、町道は2回草刈をし、状況が悪いところは言っていただければ対応します。

冬の除雪の関係ですが、夜に除雪をしない路線が多く、災害になるような場面があれば、道路管理者として出動させなければならぬ状況にあります。冬の通行に支障がでないように対応していただけるよう要望をしていきます。(9月5日要望済み)

図書司書について

Q 図書室の司書の配置が今年度からなくなりましたが、その理由と、司書の配置について検討していただきたいと思います。



町長 本町は図書室ですので、司書の配置義務はありません。人事の中で経験を積んでもらおうと思いましたが、本人の意に沿わなかったため、退職に至ったことは非常に残念であります。

ガソリンスタンドについて

Q 自治体でスタンドを運営している事例があったと思いますが、幌加内では、実施する考えはあるのでしょうか。

町長 同じ管内で言うと、占冠村が実施しています。幌加内は、ガソリンスタンドの空白地帯であり、以前から要望もあったところで、課題であると感じています。経済産業省でも補助もあり、規制緩和で地下タンクの容量も小さくなったので、設置費や維持管理もし易くなっています。町で設置しても、実際に運営できる団体等の問題があり、体制が整えば、設置に向け、検討はしやすいと考えています。

